

委託訓練の目標就職率の見直しについて

《案》

平成28年度の直近の実績を見ると既に70%は超えているため、目標を75%に引き上げる。ただし、雇用情勢の変動に応じて平成30年度以降は弾力的に設定する。

【平成28年度就職率実績速報値】（）前年度

6月末時点 73.0% (73.8%)

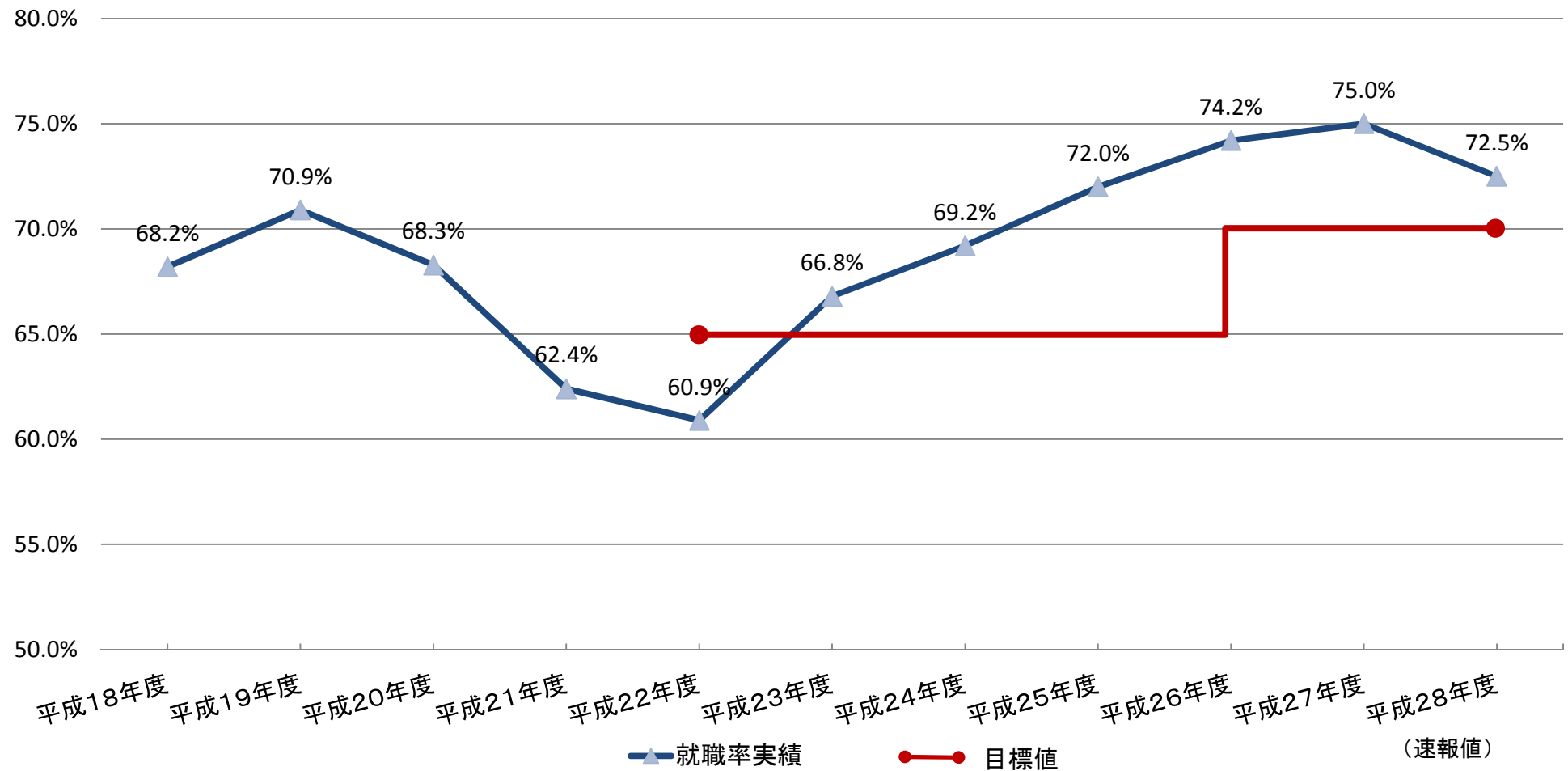
7月末時点 72.5% (74.0%)

※ 年度後半には、資格取得コースの実績が加わり、就職率実績は上昇する見込み。

【参考：第16回中央訓練協議会における意見】

- ・プロフィールごとに就職できなかった人の状況を把握し経年的に見て傾向を把握することが重要。また、定着率や修了後のキャリア形成にどのように影響を与えているのかも、一定年数を区切ってプロフィールごとに把握することで、2つの面から目標の適切性を検討すべき。70%が低いとは思っている。
- ・職業訓練というのは景気変動のセーフティネットという側面があると考えており、長期のスパンで就職率を設定していくことが重要ではないか。
- ・就職率70%の目標値については適切ではないか。現状は目標値を超えようと100%以上の努力をした結果。
- ・目標であるため、高く設定した方がよい。雇用情勢も良いため目標率を高めていくべきではないか。
- ・目標について言えばある程度高めの水準を掲げて、そこを目指して努力していくというのが、政府全体の取組み姿勢を示すことになって最も分かりやすい数字ではないか。雇用保険二事業に関しては、翌年度の目標値についてはより高い目標をお願いしている。
- ・短期的に変更するのは問題だという意見があったと認識。個人的には、サービス提供側の努力と意欲に配慮が必要ではないか。その上で、まだ引き上げ後2年しかたっていないため、少しまだ早いのではないか。

委託訓練 就職率の推移



※平成28年度の実績は7月末までに終了した訓練の3か月後の就職実績。

※厚生労働省 定例業務統計報告より

※目標値は『新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ』(平成22年6月18日閣議決定)において平成32年度までの目標として65%と設定。
実績を踏まえ平成26年度から70%へ引き上げている。